

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 5 日(2024.7.5)

【公開番号】特開 2023-1267(P2023-1267A)
【公開日】令和 5 年 1 月 4 日(2023.1.4)
【年通号数】公開公報(特許)2023-001
【出願番号】特願 2022-179008(P2022-179008)
【国際特許分類】

B 3 2 B 27/00(2006.01)

10

B 3 2 B 3/30(2006.01)

B 3 2 B 3/24(2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/00 E

B 3 2 B 3/30

B 3 2 B 3/24 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 6 月 27 日(2024.6.27)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

観察者から視認される側である正面側とは反対の側である背面側から、基材層と意匠層と透明樹脂層とが順次積層された構造を有し、

前記意匠層の開口部に光透過部が設けられ、

前記透明樹脂層の前記正面側の面である第 1 面に凹凸が設けられている

30

加飾シート。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の加飾シートであって、

前記光透過部と前記凹凸とがともに周期パターンを有し、

前記光透過部のパターンの周期を P_a とし、前記凹凸のパターンの周期を P_1 としたとき、 $P_1 \cdot P_a / |P_1 - P_a| \geq 300 \mu m$ の関係を満たしている

加飾シート。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の加飾シートであって、

前記凹凸が周期パターンを有していない加飾シート。

40

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか 1 つに記載の加飾シートであって、

前記凹凸は、エンボス加工による凹凸である加飾シート。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか 1 つに記載の加飾シートであって、

前記透明樹脂層の前記正面側に積層された拡散層を備え、

前記拡散層は、粒子及びバインダー樹脂を含む

加飾シート。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の加飾シートであって、

50

前記拡散層に含まれる前記粒子の幅は前記凹凸のピッチの半分より小さい
加飾シート。

【請求項 7】

画像光を出射する画像光出射装置と、

前記画像光出射装置と対向して配置された請求項 1 から 6 のいずれか 1 つに記載の加飾シ
ートと、を有し、

前記加飾シートは、その前記背面側が前記画像光出射装置と対向して配置されている
表示装置。

10

20

30

40

50